政文研だより

発行 2025.10月

一般社団法人 神奈川政経文化研究会

【活動報告】

9月20日に、【河野太郎講演会・夏の陣】を開催しました。

【開催日】

令和 7年 9月 20日(土)

【開催場所】

平塚商工会議所 2階 平塚市八重咲松風町2-10



受付開始 18時30分 講演会時間 19時~20時30分

ご参加いただきました皆様ありがとうございました



※5月に、継続のお願いのお便りを メールにてご連絡いたしました。 お支払いがまだな方はどうぞよろしく お願い致します。

【地域の情報】

東海大学ラグビー部応援会2025開催のご案内

日時:令和7年11月22日(土)

18時受付 19時~21時

場所:グランドホテル神奈中

平塚市八重咲町6-18 会費:7000円

東海大学ラグビー部を 応援して盛り上げましょう!

ご参加希望の方はQRコードより お申込みください。 どうぞよろしくお願いいたします 協賛ご協力もお願いいたします。





一般社団法人 神奈川政経文化研究会 会員の皆様へ

令和7年10月号 代表理事メッセージ

拝啓 秋風が心地よい季節となりました。皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、一般 社団法人 神奈川政経文化研究会の活動に対しまして、あたたかいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本年10月、私にとって大きな節目を迎えました。亡き父・今村善美が旅立ってから、ちょうど一年。

- 一周忌を迎えるにあたり、父の背中と、私自身の生き方の"軸"について、あらためて深く思いを馳せました。
- 東洋思想に学ぶ「生きる姿勢」

私はこれまで、黒部宮への定期参拝や、寒川神社への月例参詣を続けてきました。

祖先の墓前に手を合わせるたびに、「自分は一人で生きているのではない」という感覚に支えられてきた気がします。

仏教で言えば「縁起」、儒教で言えば「孝」、陽明学であれば「知行合一」

こうした東洋の叡智は、難しい言葉ではありますが、実は日々の生活の中に自然に根付いているものです。

つまり、「感謝を忘れず、目の前のことを誠実にやる」。

そんな当たり前のことを、きちんと続けることこそ、人生と社会を整える力になるのだと思っています。

■ 父の教えと「天命」という考え方

父は多くを語る人ではありませんでしたが、その生き方はまさに「実践の人」でした。

地域を想い、家族を支え、仲間を信じ抜いたその姿勢は、今も私の中に息づいています。

東洋思想の中に「五十にして天命を知る」という言葉があります。

私も五十を越えた今、自分が何のためにこの立場に立っているのか、少しずつ理解しはじめています。

それは、

- ・地域の未来のために動くこと
- ・社員や仲間の幸せのために尽くすこと
- 子どもたちのために道を整えること

こうした行いの積み重ねこそが、天から与えられた命(めい)なのだと、そう感じるようになりました。

■ 褒めることは、徳を積むこと

私が「褒める文化をつくろう」と言い続けているのも、実は東洋思想の影響です。

褒めることは、相手の中の"良い芽"を見つけること。

それは組織の中で希望を育てることに他なりません。

そしてそれは、善行・徳行を重ねていくことにもつながります。

小さな善意の循環が、やがて大きな信頼の連鎖となり、地域や国の活力となるのです。

■ 未来へ向けた「学び」と「対話」

当会では、引き続きオンライン勉強会の継続開催を予定しております。

日々変わる政治・経済・社会の流れを的確に捉えながら、東洋と西洋、古典と現代をつなぎ、知の交流を深めてまいります。

亡き父の教え、東洋思想の智慧、そして共に歩む仲間たちの存在

そのすべてが、私にとっての人生の道標です。

これからも皆様と共に、「良き人生」「良き社会」の実現を目指して、歩み続けてまいります。

敬具

一般社団法人 神奈川政経文化研究会 代表理事 今村佳広

